

株式会社 日刊金属新聞社

発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06) 6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076) 444-6836

購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

日刊メタルレポート

住友金属鉱山電気亜鉛
蒸溜亜鉛・原料指定問屋
亜鉛ドロ・洋買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

〒555-1 大阪市西淀川区佃四丁目一四番三三
〇〇一 電話(〇六) 六四七一・二五三一代表
〒111 東京都墨田区立花二丁目四番五号
〇〇二 電話(〇三) 三六一八・一三五五番

輸入は新地金、スクラップとも増

アルミ 新地金が八二・六%増



橋本健一郎氏

橋本金属 橋本健一郎氏リポート②

【概況】七月前半は、中国PMI指数の下落や米雇用統計の悪化から下げ基調で月初入りするも、米新規保険失業申請件数が減少、中国の金融緩和策継続や、四〇六月期の米企業の好決算などから下げ止まり、LMEアルミは一、七〇〇ドル近辺を推移。後半は中国一〇六月期のCPI(物価指数が)想定内だったことや米中古住宅販売件数の増加、ケース・シラー指数の上昇を受けて上昇、LMEアルミは二、〇〇〇ドル近辺まで回復した。

【八月の経済指標】

◆自動車生産台数

日本自動車工業会発表によると自動車生産台数は前月比二一・五%増の八六万一、〇四五台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省発表の新設住宅着工戸数は前月比一四・七%増の六万八、六八八戸数であった(前年同期八・七%増)。(二面へ続く)

昭和電工十二月通期予想を上方修正

アルミ部門や無機部門が上振れ

昭和電工の二〇一〇年十二月通期の連結業績予想について、売上高八、二五〇億円(従来予想八、〇〇〇億円)、営業利益四〇〇億円(同三三〇億円)、純利益一四〇億円(同一二〇億円)にそれぞれ上方修正した。エレクトロニクスや自動車向けを中心とした需要拡大が続くと見込まれるため。セグメント別の営業利益予想は、無機部門とアルミニウム部門を従来予想からそれぞれ二五億円、電子・情報部門を一〇億円上方修正した。無機部門ではセラミックスと電炉鋼業界向けの人造黒鉛電極が当初の販売計画を上回る見通し。アルミニウム部門の自動車向け熱交換器や電子・情報部門のハードディスクも上振れを見込む。

野村一郎常務は下期の経営環境について「為替やエコカー補助金の打ち切りなど、影響が読み切れない部分はある」としている。

二〇一〇年六月中旬期の連結業績は、売上高が三四%増の三、八四〇億円、営業利益が一七億四、四〇〇万円の黒字(前年同期は二二億八、一〇〇万円の赤字)、純利益が七億〇、一〇〇万円の黒字(同四六億五、一〇〇万円の赤字)となった。ノートパソコン向けハードディスクを中心とする電子・情報部門がけん引し、二年ぶりに黒字化した。

新幹線を支える

イクサの銅合金インゴット

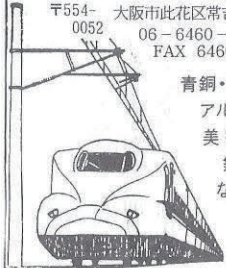
高品質を追求するイクサの銅合金地金は、鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR各線の安全運転のお役に立っています

株式会社 イクサ

〒554-0052 大阪市此花区常吉2-3-53
06-6460-2246 代表
FAX 6460-2355

青銅・リン青銅
アルミ青銅
美術青銅
鉛青銅
など各種

N700系
のぞみ
(時速300km)



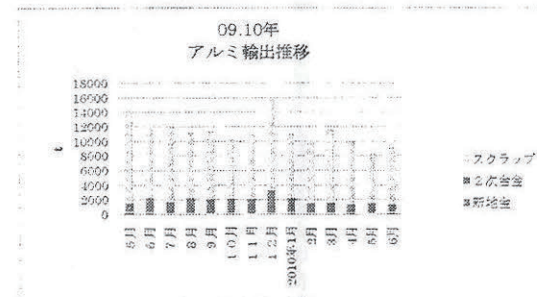
アルミスクラップ相場上げも 輸入塊高騰など

(二面より続く)

◆貿易指標

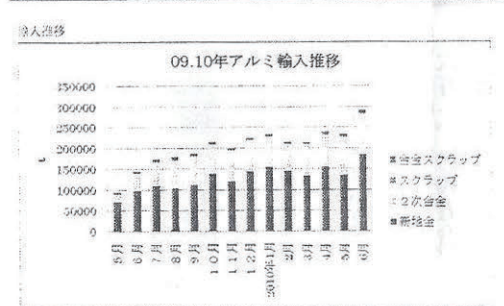
財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前月比八二・六％増の二一〇t、二次合金は同一四％減の一、二六t、スクラップは同一四・六％増の七、八三三t。

	4月	5月	6月
輸出			
新地金	248 t	115 t	210 t
前月比	+86.1%	+15.1%	+82.6%
二次合金	1081 t	1310 t	1226 t
前月比	+20.9%	+21.2%	-1.4%
スクラップ	3562 t	3638 t	7833 t
前月比	+15.5%	+20.1%	+11.6%
輸出推移			



輸入は新地金が前月比三六％増の一八万五、〇五五t、二次合金が九・三％増の九万八、九〇二t。アルミスクラップは五三・七％増の一、一九六t、二次合金原料としての需要が多い、合金スクラップは四・七％増の七、四九一t。

	4月	5月	6月
輸入			
新地金	15万 9272 t	13万 8020 t	18万 5055 t
前月比	+15.4%	+12.1%	+36%
二次合金	7万 8548 t	9万 452 t	9万 8902 t
前月比	+1.3%	+14.2%	+0.5%
スクラップ	352 t	778 t	1106 t
前月比	+15%	+3.9%	+53.7%
合金スクラップ	7355 t	7157 t	7491 t
前月比	+78.3%	+2.7%	+4.7%
輸入推移			

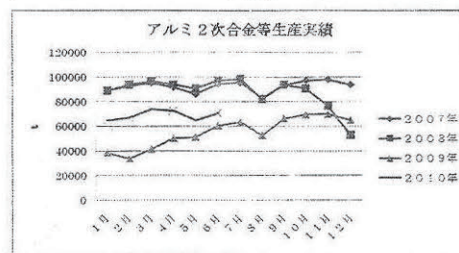
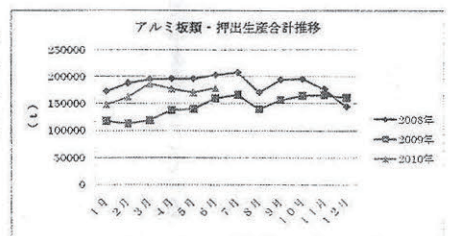


【六月の国内指標】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前月比五・二％増の一七万八、七三四t(前年同期一

四・二％増)

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前月比八・九％増の七万〇、八七五tであった(前年同期一八％増)。



【見通し】六月は国内自動車生産台数が前月比二一・五％増と大幅に増加、二次合金生産は前月比八・九％増加し七万t台回復となった。国内自動車生産は九月までは堅調な生産計画が立てられている。

圧延・押出品生産数も前月比五・二％増と再び回復基調か？新設住宅着工数が前月比一四・七％増の六万八、六八八戸と一カ月ぶり六万戸台の水準に上昇。

ファンダメンタルズは合金輸入塊も再び上昇傾向にあること(ΣⅡ、一〇〇ドル、AK5MⅡ、二〇〇ドル辺り)から手当てがしにくく、スクラップ原料不足？逼迫が予想される。輸出入は発生減・内需回復(とはいっても輸出依存の自動車生産の回復が中心)を背景に、輸入が新地金三六％増、スクラップ五四％と大幅増加。

LME価格についてはストレステストの結果が良好だったことから、当面は各国の景気指数に一喜一憂する形になるが、ユーロ高ドル安による資金流入から、〇〇〇〇〇〇、二〇〇ドル台。

価格が需給に左右されるアルミスクラップに関しては、九月までの自動車生産が好調な計画が立てられていることや、ここへきて頼みの綱であった輸入塊が高騰してきたことを背景に、八月は供給不足になるとの思惑から、七月後半価格から一〇円程度の上げ予測。